

# 刑法特講 I

科目ナンバリング CRL-307  
選択 2単位

久保田 隆

## 1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、刑法総論・刑法各論の「2周め」として、重要な(裁)判例を題材に、1・2年次に学んだ内容の復習と応用を行います。春期の「刑法特講I」では、刑法総論の主要論点に関する(裁)判例を毎回2つずつ検討します。

## 2. 授業の到達目標

- ①刑法総論に関する主要な論点について、(裁)判例の内容を踏まえながら説明できる。
- ②刑法総論に関する最新の論点について、問題の所在および議論状況を的確に説明できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

【対面授業の場合】学期末試験(95%)および授業への貢献度(5%)によって評価します(授業への貢献度については、出席状況や授業態度、担当教員からの質問への応答などをもとに判断します)。  
【オンライン授業の場合】学期末レポート(70%)およびリアクションペーパー(30%)によって評価します。

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

十河太朗＝豊田兼彦＝松尾誠紀＝森永真綱 刑法総論判例50! 有斐閣

### 参考文献

佐伯仁志＝橋爪隆[編] 刑法判例百選I[第8版] 有斐閣  
成瀬幸典＝安田拓人[編] 判例プラクティス刑法I 総論[第2版] 信山社  
井田良＝鈴木彰雄＝高橋直哉＝只木誠＝曲田統＝安井哲章 刑法ポケット判例集 弘文堂  
井田良＝佐藤拓磨[編著] よくわかる刑法[第3版] ミネルヴァ書房  
青木人志 判例の読み方 シッシー＆ワッシーと学ぶ 有斐閣

## 5. 準備学修の内容

毎回、授業の最後に翌週の授業の内容を予告しますので、上記教科書の該当箇所(特に、事案の概要)を読んで予習してください。刑法総論について簡単に復習したいという人には、上記参考文献(『よくわかる刑法[第3版]』)の該当箇所を一読することをお勧めします。

## 6. その他履修上の注意事項

- ・「刑法総論I・II」をすでに履修済みであることを前提に授業を進めます。
- ・授業では、レジュメを配布します。
- ・六法を毎回必ず(!)持参してください(小型のもので構いません)。
- ・質問や相談は、授業後の休み時間に受け付けます(オンライン授業の場合は、リアクションペーパーに記載してください)。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション 授業の進め方|刑法総論の全体像
- 【第2回】 因果関係 第三者の故意行為の介入|被害者の過失行為の介入
- 【第3回】 不作為 不作為の因果関係|不作為による殺人
- 【第4回】 故意 未必の故意|認識内容の具体性
- 【第5回】 錯誤 具体的事実の錯誤(方法の錯誤)|抽象的事実の錯誤
- 【第6回】 過失 予見可能性の対象・程度|予見可能性の対象としての因果関係
- 【第7回】 正当防衛① 積極的加害意思と急迫性|自招侵害
- 【第8回】 正当防衛② 防衛行為の相当性|過剰防衛の限界
- 【第9回】 緊急避難 現在の危険と補充性|強要による緊急避難
- 【第10回】 責任 原因において自由な行為|違法性の意識
- 【第11回】 未遂犯 早すぎた結果の発生|中止行為の任意性
- 【第12回】 正犯と共犯① 共謀共同正犯(1)|共謀共同正犯(2)
- 【第13回】 正犯と共犯② 共犯関係の解消(1)|共犯関係の解消(2)
- 【第14回】 正犯と共犯③ 承継的共犯|共犯と身分
- 【第15回】 【対面授業の場合】春期のまとめと期末試験／【オンライン授業の場合】期末レポートの講評